

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」

平成25年度、文部科学省事業である「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」の推進校として、下関市立安岡小学校、下関市立安岡中学校、宇部市立見初小学校、宇部市立神原中学校の県内4校で取組を進めていただきました。

小中連携の一層の推進

本県では、小中連携は学力向上のための大きな柱の一つであると捉えており、推進校である4校には、小中連携を一層推進することによって、学習内容等の相互理解に基づく学習指導の充実を図るとともに、学習への意欲を向上させる授業規律の在り方や、基礎的・基本的な内容の定着を図るための家庭学習の習慣化に向けた9年間一貫した取組を推進していただきました。

その4校の取組について紹介します。

下関市立安岡小学校・下関市立安岡中学校

1 特徴的な取組

小中連携による学習指導の一層の充実と学習習慣の確立による学力向上

授業改善に向けた3つの共通取組

【3つの共通取組】

安岡小・中学校の学力課題解決に向け、授業改善を柱とした3つの共通取組を実践しました。

授業改善のための3つの共通取組

めあての提示

→ 黒板に必ず明示する。

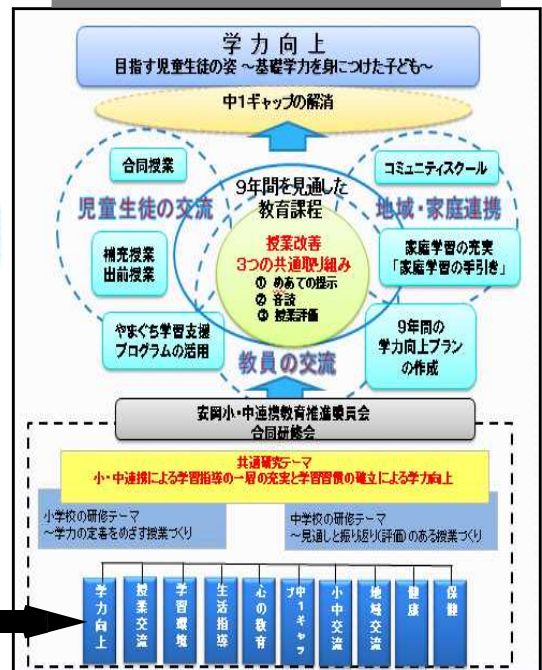
音 読

→ 重要な語句や文章を全員で声に出して確認する。

授業評価

→ 自分の言葉で文章にまとめる。
「何字で」「何分で」・・・など工夫を加えながら

安岡小・中学校連携イメージ図



小中連携教育推進委員会

【10の研究グループ】

安岡小中連携教育推進委員会の合同研修会において、「学力向上」「授業交流」「学習環境」「生活指導」「心の教育」「中1ギャップ解消」「小中交流」「地域交流」「健康」「保健」の10のグループに小中全教員が所属し、連携を図ってきました。

教員の交流

児童・生徒の交流

コミュニティ・スクール

2 取組の様子

前ページのような授業面、組織面での取組を柱として、中学校教員が小学校に出向いて授業を実施したり、小学校教員が中学校夏季補充学習での指導に協力したりといった教員の交流が進みました。

また、6年生が中学校で授業体験をしたり、中学生が小学校冬季補充学習に協力したりと、児童生徒の交流も盛んに行いました。

コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、児童生徒が地域の様々な行事で活躍し、家庭や地域との交流も深まってきました。



宇部市立見初小学校・宇部市立神原中学校

1 特徴的な取組

「学び合いのある授業づくり」を共通テーマとして、9年間を見通した一貫性のある指導による「確かな学力の定着」をめざし、以下の点を中心に取り組みました。

- 小中共同で全国学力・学習状況調査をはじめ各資料等の分析
- 小中教員の合同授業研究
- 小中連携3本柱の設定（*）

2 取組の様子

(1) 全国学力・学習状況調査の「小中追跡」分析

中学3年生について、全国学力・学習状況調査における平成25年度と3年前（小学6年生時）の結果分析を行い、学力と生活との相関関係から、生活上の課題を明らかにし、生活改善に取り組みました。

(2) 算数・数学における積み重ね（基礎計算力の調査）

基礎計算力の定着状況を各校同一問題で確認した結果、小数、帯分数、通分をともなう計算に課題を見出し、基礎・基本の定着を図る取組を進めました。



(3) 合同授業研究

「聴き合う関係の中で、互いに認めながら、学びを深める授業」をめざし、小中合同研修や小中教員の相互乗り入れ授業を行いました。

(4) 小中連携3本柱の設定（*）

「あいさつ・言葉遣い」「学び合いのある授業づくりの共通実践」「学習・生活習慣・生活リズムの向上」の3本柱を設定し、9年間を見通した一貫性のある指導を行いました。

共通テーマ「学び合いのある授業づくり」による取組

全国学力・学習状況調査の「小中追跡」分析、小中連携3本柱の設定等

安岡小学校、安岡中学校は、3月5日に文部科学省で行われた「確かな学力の育成に係る実践的調査研究連絡協議会」で発表をされました。

学力調査官からは、「小中連携は、学力向上に有効である、指導と評価のサイクルが確立されている」等の講評をいただきました。